

第4問(選択問題)  
問1

**ア** ~ **エ** について考える。

B4番地はWHATDAY関数で表示される数と曜日の値が等しい場合は1を、そうでなければ0を表示させる。まず **ア**・**イ** の解答群を見ると①~②の選択肢はB4が含まれているため、B4番地に入力する選択肢としては不適切である。またWHATDAY関数は問題の最終ページの【使用する表計算ソフトウェアの説明】に書かれている通り

WHATDAY (式1, 式2, 式3)

で式1に西暦年, 式2に月, 式3に日を入力するので, 解答群③~⑤のうち, この体裁を満たしているのは,

⑤WHATDAY (\$A2, \$B2, 1)

のみである。

C4番地はWHATDAY関数で表示される数と曜日の値が等しい場合は1を, WHATDAY関数で表示される数より曜日の値が大きい場合は前日+1を, それ以外なら0を表示させなければならないためC4番地は,

IF (⑤WHATDAY (\$A2, \$B2, 1) = C3, 1,

IF (⑤WHATDAY (\$A2, \$B2, 1) < C3,

①B4+1, 0))

となり **イ** は

①B4+1

となる。ここでC4番地はセル範囲D4からH4に複写するが, B4は相対的に参照するため列番号の前に\$を付けてはならない。

第2週以降のある曜日の日付は「前週の土曜日の日付+曜日の値」で求められるので, B5番地は前週土曜日の日付つまりH4番地+曜日の値つまりB3番地となるのでB5番地は,

H4+B3

となる。ここでB5番地はセル範囲B6~H9に複写するので, H4は列を固定するために列番号の前に\$を, B3は行を固定するために行番号の前に\$を付け,

①\$H4+②B\$3

とする。

(答) **ア** … 5   **イ** … 0   **ウ** … 1   **エ** … 2

問2

**オ** ~ **コ** について考える。

平年と閏年の規則より, 閏年となる条件は規則1より「400で割り切れる」または規則2より「100で割り切れない」かつ規則3より「4で割り切れる」年であるので「①400で割り切れる」または

(「③100で割り切れない」かつ「4で割り切れる」)

となり, これを計算式で表す。

まず余りを求める関数について問題の最終ページの【使用する表計算ソフトウェアの説明】には次のように書かれている。

MOD (式1, 式2) : 式1÷式2の余りを求める。

例えば「式1はxで割り切れる」とする場合, MOD (式1, x) は0となる。

そこでB4番地に入力するために閏年となる条件を一つずつ計算式に表すと,

「400で割り切れる」 → MOD (B1, 400) = 0

「100で割り切れない」 → MOD (B1, 100) ≠ 0

「4で割り切れる」 → MOD (B1, 4) = 0

となるためB4番地は,

IF (OR (⑥MOD (B 1, 4 0 0) = 0,  
 ①AND (③MOD (B 1, 1 0 0) ≠ 0,  
 ②MOD (B 1, 4) = 0)), 2 9, 2 8)

となる。

(答) オ … 0    カ … 3    キ … 6  
ク … 1    ケ … 3    コ … 2

問 3

サ ~ タ について考える。

表 6 の C 2 番地は B 2 番地に入力されている月と表 5 の A 3 ~ A 1 4 番地に入力されている月と照合して、同じ月の日数を表示する。P I C K U P 関数は問題の最終ページの【使用する表計算ソフトウェアの説明】に書かれている通り、

P I C K U P (セル範囲 1, 式, セル範囲 2)

であるので表 6 の C 2 番地は、

P I C K U P (④月日数表! A 3 ~ 月日数表! A 1 4, ②B 2,  
 ⑤月日数表! B 3 ~ 月日数表! B 1 4)

となる。

(答) サ … 4    シ … 2    ス … 5

表 7 の A 3 番地は表 6 のセル範囲 B 4 ~ H 9 の値を表示させ、セルの値が 0 の場合と、表 6 の最終日より大きい値の場合は表示させないようにしなければならない。言い換えるとセル範囲 B 4 ~ H 9 の値が 1 以上、最終日以下のときに、その値を表示させ、それ以外の場合は表示させない。これを計算式として表すと表 7 の A 3 番地は、

IF (AND (曜日計算表! B 4 >= 1, 曜日計算表! B 4 <=  
 曜日計算表! C 2), 曜日計算表! B 4, “”)

となる。ここで表 7 の A 3 番地はセル範囲 B 3 ~ G 3 とセル範囲 A 4 ~ G 8 に複写するので、曜日計算表! C 2 は行と列を固定するために行番号と列番号の前に \$ を付け、

IF (①AND (④曜日計算表! B 4 >= 1, ④曜日計算表! B 4 <=  
 ⑥曜日計算表! \$ C \$ 2), ④曜日計算表! B 4, “”)

とする。

セ … 1    ソ … 4    タ … b